

「未来に伝える山形の宝」事業

シンポジウム

氷河期の埋没林保存をいかにするか Part 2

アンケート

次回企画の参考とさせていただきますので、本日の感想をお聞かせ下さい。
該当する箇所を○で囲んでください。

1, あなたについて教えてください。(回答 51 人)

☆ お住まいは

- ア 南山形地区内 38 人
(黒沢 2、松原 4、駅前 3、片谷地 5、谷柏 3、津金沢 2
南山形住宅 1、蔵王第二 5、新南 2、南松原 2、県分 3、市営 1、
みはらしの丘 1、他 4)
- イ 南山形地区外 13 人
(小立 2、小白川 1、南館 1、南沼原 1、明治地区 1、城西 1、
平清水 1、天童市 1、蔵王地区 3、他 1)

☆ 性別は ア 男性 45 人 イ 女性 6 人

☆ 年齢は ア 20代 0人 イ 30代 0人 ウ 40代 3人
エ 50代 5人 オ 60代 18人 カ 70代 21人
キ 80代以上 4人

2, 本日の催しを何でお知りになりましたか。(複数回答)

- ア 講演会チラシ 12 人
イ 人から聞いて 7 人
ウ コミセンだより 28 人
エ ホームページ 2 人
オ 自治会 1 人
カ 山形新聞 1 人
キ 遊学館 HP 1 人
ク 広報やまがた 3 人
ケ コミセンから TEL 2 人
コ その他 3 人

3, 内容の感想、ご要望等あれば何でもお書き下さい。

- ・南山形地区の埋没林保存に対する関心が高いことが判りました。ありがとうございました。

- ・氷河期の地面が、現在も同じ高さであることに驚いています。保存法、詳細に記録を残していく。無理して保存する必要があるか。
- ・保存にあたっては、先ず資金が必要ではないか…まして規模の大きいものには、なおさら。これには行政の力が不可欠。行政にお願いするしかないのでは。
- ・埋没林の自然保存方法は大変では。尚、須川の洪水地帯にある為に地域の理解が得られるか？
- ・前回もお願いしたが、道路、鉄道、水道の橋梁維持のために上流に護床工（ダム）が設置されておりますが、それが、その直下にある埋没林の河床低下を大きくしていると考えられ、豪雨融雪水で更に大きく低下が進むと思います。文、官共同計画で埋没林直下に護床工を急ぎ設置するようお願いいたします。さらに、全株流失前に1,2本を文化財として施設に保存することも必要と思います。
- ・知恵を出し合い早急に保存して頂きたいです。山形市や南山形地区だけでは予算面からも難しいと思いますので、ネットやいろんな方法で全国へアピールし、資金集めをしてはいかがでしょうか。
- ・埋没林の何本かを掘り出して、コミセンか、公民館に展示してはどうでしょうか。
- ・川の流れを変えて、水流で埋没林が削れない様にして、その上にミュージアムを創る。
- ・化石保存の具体例が分かりやすかった。
- ・非常に参考になりました。
- ・居住している地区を流れている須川に埋没林が立ち杭のように河床に残っていることを知り学講したが、埋没林を保存する意義と保存する大切さと共に難しい面が解った。
- ・今まで、関心がなかったのですが、埋没林保存の意義を少し理解できたように思います。
- ・行政の予算の確保が課題ですが、地域民が声を上げていかなければならないと思います。
- ・一般市民への周知を図って、保存に対する考えを促すことが大事と思う。
- ・地元の事で、大変勉強になりました。また来年もやってほしい。
- ・埋没林を保存するには色々あるかは勉強したが、片谷地の川には結構ありますので、その1部ということになると思いますが、川を迂回して全部保存するのが一番と思いますが大変難しい。写真、VTRでその都度、撮影しておくことが大事。
- ・早急に保存しないと消滅してしまいます。現在6/19、11本柱がありますが2本が流されてしまいます。
- ・3名の先生からの大切な講座をありがとうございました。参考になりました。来年度も是非企画してください。

- ・(氷河期) 原始の森等が自然災害等により埋没してしまったものが自然環境の変化で出沒、手作業により発掘されていく事を考えると非常にロマンを感じ取った。その貴重な財産を後世に残す大事さを悟った事が初歩的な自分にとり収穫を得ました。底辺から広げて盛り上げて予算をつけて頂くよう全体(員)で働きかけるように考えます。
- ・昨年同様、同じテーマでの埋没林の講演は非常に良かったと思います。テーマについて大変良い。今後は南山形地域と東北文教大学を中心に考えて頂き東北文教大学の中心的な課題として、資料館を期待したい。東北福祉大学の仙山線交流化の資料のように。
- ・要望として、当地区の羽州街道、日本奥地紀行(バード)を地域の分科として東北文教大学で確立して頂きたい。
- ・たまたま恩師のお名前を見つけたので参加させていただきました。地元の遺跡等を知る機会となりました。今後もこういった学術的な催しをして欲しいです。(大人向けの)
- ・埋没林が過去の大洪水で作られたという事から災害科学研究の立場から研究予算をつけるというのはいかがでしょうか。科研費を利用して全国の大学の研究者を組織するというのは?災害との関係を強調すれば、ジオパーク認定なども可能になるのではないのでしょうか。
- ・保存についての方法、課題などよく解りました。貴重なお話ありがとうございました。ネックは継続的な資金だな。景観物語などで知名度を上げてからクラウドファンディングとか、保存するなら継続する資金が大事ですね。山形は、建物もそうですが重要性に気付かず消えていくのが多いです。
- ・自然環境の急激な変化が埋没林の急激な破壊と連動していると思われた。その警鐘としても変化の状態とともに保存していく意義があるのではないかと、ただ自然のままには無理。ただ単なる遺物ではなく未来へのメッセージとして広く伝えていく必要性を感じました。(博物館等、県立博物館移転計画と併せて…みはらしの丘ミュージアムパークは候補地とならないか)単なる観光的であっては意味がない。
- ・埋没林について、いろいろお話が聞けて良かったです。また南山形地区の埋没林保存に対する熱意も感じられました。どういう形で保存&展示が進展するのか、先ずはなかなか厳しいようにも思いますが、注意深く見守っていきたいと思います。現地見学会等、企画があれば参加したいと思います。
- ・埋没林を見るたびに本数が減る。細くなる現状です。早く保存方法を決めていただき残してもらいたい。
- ・小委員会での具体的な検討に期待したいと思います。
- ・自分が南山形地区に70年間暮らして何もわかっていなかった事に気が付きました。

- ・埋没林の話だけでなく創生プロジェクトの 5 つの実践プランのこの企画とても素晴らしく今後も続けて欲しいと考えていますし、以外と地区民でも分かっていない人達が多く、まだまだインフォメーションする必要があると強く感じます。
- ・早急に保存が必要。
- ・保存の必要性と、そのための資金作りがどうなるのか不安。
- ・どのようにしたら良いか分かりませんが、保存になれば大変素晴らしいと思います。
- ・歴史的価値は、十分理解でき、大変貴重な財産であることも承知しております。ただし、須川流域に居住し、また最近異常気象による災害（水害）多発、蔵王山噴火による土石流発生の恐れや、心配の二面性をもつ大変難しい問題です。両面を考慮して良い保存方法を皆で考えたい。
- ・国内 3 ヶ所について山形県にも展示保存館があればと夢が膨らむ。予算的、専門的にも大変なことだと思うが、先の 3 ヶ所のところを参考にして何とか実現したいと思った。まずは、QR コード、動画 etc 全国へアピールしたら良いと思う。事務局提案に賛同。製作を期待します。
- ・大変分かりやすくお話いただき、埋没林の保存の大切さ、難しさを感じました。今後は非 2、3 本掘り起し保存できたらと思います。
- ・保存の具体例もありましたし、そのまま保存しなくて自然に消えていく事もあり大変難しい。しかしながら今日の講義の中、現地保存で QR コードを利用した解説は直ぐに実施してほしいと思います。
- ・須川埋没林の保存を早く、風化する前に保存することは重要と思う。
- ・南山形地区を中心に各関係者と提携して保存管理を実現したいものです。その為の具体的活動と具体化を進めることでしょう。今回は充実した講座でした。
- ・仮称「山形第四紀博物館」新設構想の具体化を。QR コードのアイディアは直ぐ実施できるのではないか。
- ・以前仙台市の視察をしたことがあり、今回も詳しくお聞きしたいと思い参加しました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・埋没林に興味があったが、内容的に難しいものであった。各施設により保存方法が異なるのはなぜか、埋没林の価値観、種類。
- ・保存の重要性と難しい現実が実感できました。適切な方法、状態にて保存が進むことを期待します。ありがとうございました。